

令和5年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【歯学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年10月13日	CHAmmiT参加者（教職員含む）及びFD委員，教務課員，第5学年クラス担任，第1～5学年の学生ら計28名で，学部提案書について1時間強，意見交換を行った。

2 歯学部から学生へのメッセージ

<p>本協議は例年，日本大学本部が主催する「日本大学 学生FD CHAmmiT」への参加者により行ってきました。</p> <p>一方，歯学部では学部独自の取組として学生FD活動を支援しており，平成28年度から『歯学部学生FD「しゃべり場」』を開催しています。「CHAmmiT」と「しゃべり場」は，いずれもFD活動に学生の声を反映させながら，教育や学生生活環境の改善，向上を目的としてしており，目指すものは同じです。こうした観点から，今年は本協議と「しゃべり場」をMIXして開催し，多くの学生と教職員が参加することで，より充実した意見交換会を実施することができました。残念ながら「CHAmmiT」及び「しゃべり場」の存在は，学生の皆さんに十分に浸透していないと感じます。次年度は，より多くの学生が自分の意思で，積極的に参加してくれることを期待しています。</p>
--

3 学部提案書の対応について

「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
出席の確認方法を統一してほしい。	○			授業の形態によって適切な出席確認方法を導入しているため，統一は難しいです。
大学からの連絡手段が「Google classroom」「G-mail」「Google calendar」の3つに分かれているため統一してほしい。	○			内容により適切な手段で伝えていますので，それぞれを確認してください。
平常試験の平均点を開示してほしい	○			教員より開示される得点分布図を参考にしてください。
図書館の複写機でカラーコピーをとりたい。	○			現在2台ある複写機のうち，1台はカラーコピーが可能です。
講堂，図書館の利用時間を延長してほしい。	○			現時点で大学施設の利用は21時（使用頻度の高い時期は22時）までの利用が可能です。学生の安全上の観点から，現時点で延長はできません。
医歯薬間で同じ内容の授業を受けるなど，刺激を受けたい。	○			5年次の前期は「隣接医学」として，本学医学部の教員による授業を展開しています。また，複数の講座では他大学から講師を招き授業を行い，さまざまな分野に触れる機会を提供しています。
白衣について ・1～4年生の白衣は厚手で洗濯しにくい。 ・5年次の院内実習で使用する白衣のクリーニング集荷システムを確立してほしい。	○			白衣は薬品の飛散や接触から身を守る役割があり，歯学部では安心して実験，実習に臨めるよう厚手の綿素材を採用しています。 5年次の白衣については，過去には学生の要望に基づき業者によるクリーニング集荷システムを導入していましたが，令和2年度当時の第5学年から，回収や配付が煩わしいとの理由から不要であるとの申し出があり，廃止に至った経緯があります。再度，集荷の導入を希望する場合は，教務課に相談してください。
充電環境の充実 ・1学年100名以上の学生に対して20個程度では少ない。 ・タイプC充電器を設置してほしい。 ・ほとんどの授業でiPadを使用しており，充電がもたない。 ・設置された充電器は電圧が弱く休み時間内に充電が完了しない。 ・講義室の各机にコンセントを配線してほしい。	○			これまでも同様の要望があり，昨年度の8月までに充電器の増設やモバイルバッテリーを導入しました。その後，休み時間に講堂を何度か見回った際，全て使用されていることはありませんでしたが，今後も見回りを行い，実態の把握に努めます。各机への配線の実現は難しい事項となります。本館と3号館に設置のモバイルバッテリーが不足している場合は，数量の追加が可能ですので教務課に相談してください。また，ケーブルは機種により異なるので，各自での用意をお願いします。各種機器は，自宅で充電をしたうえ，来校してください。
本館入口ゲートの反応が遅いので，改善してほしい。	○			セキュリティゲートは，不正侵入の検知，防止を目的として，令和4年4月から導入しております。ゲート製造元に問合せたところ，学生証を認証する時間が必要なため，どうしても今ぐらいの時間がかかってしまう（反応が遅いと感じることがある）とのことでした。

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

【歯学部】

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
自宅から近い他学部の図書館や自習室を利用することがあり、他学部施設内でもWi-Fiを利用できるようにしてほしい。	○			他学部の施設内においてWi-Fiを利用できるようにするためには、セキュリティ上、当該学部の利用規程に準じた利用となります。このため、歯学部で対応することはできず、利用方法については、日本大学全体としての検討が必要となります。今後、歯学部として技術的な観点も含め、日本大学本部への働きかけを行っていきます。なお、歯学部では、令和6年度にネットワーク機器及び設定の更新を行い、現状を上回るWi-Fi環境の整備を含めた学内ネットワーク機能の向上を図ることとしています。
昼食について <ul style="list-style-type: none"> ・弁当販売、キッチンカー招致や自販機を設置してほしい。 ・5年次は院内実習があり、白衣から着替える手間により、昼食をとるのに苦労している。 	○			まず、令和4年度リーダーズキャンプ時に学生会を通じて大学に対し「食堂、コンビニ、購買などを入れていただきたい」との要望がありました。これに対して、学生生活委員会で検討を行い、その結果を令和5年4月7日付け「令和4年度リーダーズキャンプ開催に伴う学生会からの報告及び意見・要望について（回答）」の文書を以って、当時の学生担当（学生生活委員会委員長）名で当時（現6年生）の学生会会長に回答済みです。合わせて、学生課から学生会会長に対して、本回答内容については、各学年代表者・クラス委員を通じて、学生に周知するよう重ねて伝達をしていますので、把握していない場合は、学生会（学年代表者・クラス委員）を通じて確認をしてください。次に、キッチンカーについても検討を重ね、業者が来校し、現調などを行いました。しかし、消防法の観点から、本館地下駐車場などでの販売が難しいことや、歯学部敷地内にキッチンカーを駐車できるスペースがないことから、業者側から辞退された経緯があります。このような経緯があった中で、食品自販機の設置を検討し、コンビニや宅配食を扱う業者などを当たった結果、外食チェーン企業1社から提案があり、設置が現実的であることが判明したため、令和5年度内の導入に向けて、現在調整を行っているところです。正式に販売可能となった際には、学生課から学生に対し、あらためて公式にお知らせする予定ですので、楽しみにしてください。なお、販売実績が少ないと撤退してしまう可能性がありますので、導入された場合は是非とも積極的に利用してください。
1・2年のロッカーが小さく白衣に皺がつく為、増設してほしい。	○			ロッカーについては、数十年間現在のサイズで運用をしています。松戸歯学部や他大学と比較しても、遜色ないサイズの物を導入していることや、ロッカー室全体のスペースには限りがあるため、今以上のサイズのロッカーを導入することは困難であることを御理解ください。ロッカー内に保管する荷物については、白衣、靴、実習機材（技工ボックス）、当日使用する教科書等の教材、カバン等、講義・実習に必要な物を保管することを想定した上で貸与しています。一部の学生は、講義・実習と無関係の荷物を保管したり、本学部では各教科のシラバスにも記載のとおり、日頃から予習することを謳っていますが、ほとんどの教科書等を自宅に持ち帰らずに入れっ放しにしている学生もいます。白衣についても、自己管理が出来ている学生や衛生に関して意識が高い学生は、定期的を持ち帰り、洗濯やアイロンがけ、クリーニングに出したり、ロッカーに保管する際も丁寧に畳んだり、吊るすなどしている一方、自己管理が出来ていない学生は、汚れや皺が多い状態で適当に保管しており、ロッカー内も乱雑な状態であることが多い傾向に見受けられます。まずは、整理整頓など個人で出来ることから始めてみてください。なお、サイズは現状と同様ですが、令和6年度からロッカーを新しく入れ替える予定です。現在の電子錠式（4ケタ暗証番号）から、ダイヤル錠式になるため、電池切れや電子部品の故障などの影響がなくなり、不具合も減少する見込みです。

令和5年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【歯学部】

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
学生手帳の配付を復活してほしい。低学年時では使わなかったが、5年次になり必要性を感じた。	○			学生手帳については、数年間に渡り検討した結果、令和4年度を以って廃止となりました。令和3年度に全学生を対象に、学生手帳の利用頻度や必要性に関するアンケートを実施し、回答者数577名の内、「全く利用していない」が52%、「あまり利用することはない」が23%、「たまに利用する」が15%、「頻繁に利用する」が10%となり、約75%の学生がほとんど利用していないことが分かりました。また、臨床実習への影響を把握するために、第5～6学年(回答者224名)に対して「診療手帳やGoogleカレンダーなどがあれば、臨床実習に影響はないか」と質問を設けた結果、65%が「影響ない」と回答しました。こうした結果に鑑み、学生生活委員会で審議を行い、廃止が決定した経緯がありますので、今後の復活は検討していないことを御理解ください。なお、臨床実習の班や担当教員とのスケジュール管理において、個人レベルではなく、周りの班員学生や教員の協力などが必要なことで、良い方法や提案がありましたら、学生会(学年代表者やクラス委員)を通じて、学生課や学年主任・クラス担任等に相談してください。理に適う提案内容であれば、検討します。
松戸歯学部グラウンドでの夜間部活動時、暗くて危険なため、ナイター照明を点灯してほしい。	○			本件については、令和5年11月6日(月)に歯科体育施設(松戸)グラウンドを利用しているサッカー部主将から、具体的な相談が学生課にもありました。詳細内容については、全て消灯していたのではなく、一部照明しか点灯していない状態で、消灯箇所がゴールを照らす位置付近であったため、視界が悪く、怪我などに繋がる可能性があり、点灯箇所を増やすことは可能かという相談でした。これを受けて、同日中に歯学部学生課から松戸歯学部学生課へ現状の確認依頼を行いました。結果、節電対策の一環として、一部消灯していたことが判明しました。今の時期(秋頃)になると日が暮れる時間が早く暗いため、サッカー部が次回利用する11月8日(水)から全灯いただけることとなりました。すでに相談のあったサッカー部主将にも伝達し、対応完了済みの案件となります。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。